

あんぜん あんしん お届けします。

モグモグ

MOGMOG

2011
No.359

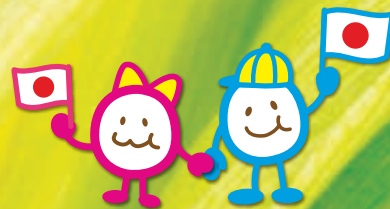
▲▲▲
CO-OP
東都生協だより

7&8

第37回
通常総代会
報告

「いのちとくらしを守る」1年に!

~東都生協はあなたの声を力として動き出します~



今こそ つながろうの
産地と私たち

おいしいを、日本の畑から。
産直の東都生協



総代会アピールを満場の拍手で採択

第37回 通常総代会 報告

「いのちとくらしを守る」1年に!

～東都生協はあなたの声を力として動き出します～

6月9日(木)、ヒルトン東京で第37回通常総代会を開催しました。東日本大震災というたいへんな事態を受け、あらためて産地との信頼関係がいかに大切であるかを確認し、東都生協は今年度も「いのちとくらしを守る」ために活動していくことを確認しました。



朝は9時半から受付開始

第37回通常総代会議案

- 第1号議案 2010年度活動・事業報告および決算・剰余金処分案決定の件
監査報告
- 第2号議案 2011年度活動方針・事業計画および予算・投資決定の件
- 第3号議案 定款の一部改正の件
- 第4号議案 規約の一部改正の件
- 第5号議案 組合員除名の件
- 第6号議案 役員選挙の件
- 第7号議案 議案決議効力発生の件



スケジュール

1. 開会 《10時》
2. 議案提案(第1号～第7号)
3. 議案審議(第1号～第7号)
4. 議場閉鎖 採決(第1～5号、7号)
5. 総代会アピール採択
6. 新任・退任役員紹介
7. 閉会 《12時35分》



庭野吉也理事長より開会あいさつ。



岩田孝和専務理事より議案を提案



2011年度の 事業と活動の柱

(議案書から抜粋)

1 組合員活動

効率的で効果的な活動を意識して、活動への参加機会が多彩になるよう展開します。制度の見直しを検討し、くらしに貢献するさまざまなニーズに応えるため、社会へのかかわりを強めていきます。

2 事業経営

商品力の強化、多様なくらしに対応した品揃えやくらし提案、質の高いサービスの提供など、組合員満足度を高めます。事業の損益構造を改善し、新規事業を積極的に検討・推進します。

3 組織運営

日常運営を強化し、マネジメントシステムの整備、人事諸制度の見直し、組合員の声をいかした改善をすすめます。さらに、2020年ビジョンとビジョンの実現をめざす第8次中期計画を策定します。

4 東日本大震災への対応

生活協同組合のネットワークをいかし、被災地への支援を続けます。また、産地・メーカーへの支援をはじめ、エネルギー使用量削減への取り組みなど、震災の影響に対応した事業を組み立てていきます。

そして 6月9日通常総代会へ

内容 第2回総代会議案の報告や議案書の補足などを掲載した「総代通信No.3」を使い議案について質疑応答、最終確認をしました。また、総代会へ向けた出席手続きや諸注意などの説明がありました。

目的 総代会に向けた議案の説明と討議。

第3回(2011年5月下旬開催)

内容 開催の会議中に東日本大震災が発生。新規事業の弁当配食事業や新たな組合員活動のスタイル案に加え、被災地や商品についても話し合われました。

目的 次年度方針策定に向けて「総代通信No.2(第2次議案書)」を基に議論。

第2回(2011年3月中旬開催)

内容 「総代通信No.1」を使った中間報告のあと、3つのテーマ(組合員活動、商品活動、テーマ活動)から1つを選び、役員と懇談しました。次年度方針づくりの参考になる意見・アイデアがたくさん出されました。

目的 第36回総代会方針に基づく中間報告、次年度の方針づくりに向け議論。

● 総代会議 第1回(2010年12月上旬開催)

内容 「総代のでびき」を使い、総代として活動に積極的にいかかわっていくため、各支部で開催。自己紹介カードを使い、好きな東都生協商品や総代として1年間やりたいことなどを発表しました。

目的 全総代が総代の役割と任務、総代会までのスケジュールを確認。

● 総代オリエンテーション (2010年10月開催)

「第37回通常総代会」に至るまでの
主なスケジュール



「総代会」とは、東都生協の活動について決定する最高機関です。22万人を超える組合員の代表として、昨年の9月に選出された「総代」が出席し、議案についての決議を行います。総代会に至るまでに、総代は、「総代オリエンテーション」や「総代会議」に出席し、理事会から報告や説明を受け、総代同士での意見交換などの機会を経て、総代会に臨みます。そして、総代会では前年度のまとめや新年度の方針などの「議案」を審議・決定して、新たな年度がスタートします。



ところで・・・
「総代会」ってなに？

「議長を終えて…」

関 有紀 (板橋・豊島支部)

過去に7回ほど総代会に出席していますが、今年は本当に大勢の人が参加しているのが印象的でした。採決結果の報告まで多少時間がかかったものの、スケジュールを守ることができホッとしました。また、発言希望者全員の方が発言できたことも良かったです。今日からまた生産者、組合員、職員の皆さんときずなを強めたいと思います。



さぎさか 匂坂 智子 (世田谷西支部)

総代の皆さんが納得できる議事進行ができるかどうかを気がしていました。第4号議案は否決されましたが、壇上から見ていると皆さんの真剣さが伝わってきて、これを機にさらにいい議論ができる、東都生協はもっと良くなると確信しました。今年度は被災地の皆さんを支援し、産地と組合員、職員が一丸となってやっていきます。



えのもと 榎本 眞基子 (小平支部)

総代会は東都生協の最高議決機関ですが、一方で仲間が久しぶりに顔を合わせるコミュニケーションを深める機会でもありますから、雰囲気や大事にしたいと心がけました。第4号議案は否決されましたが、これは組合員の意見がきちんと反映されたということ。これからも民主的で安全・安心な東都生協でありたいと思っています。



「総代会に出席して…」

斉藤 緑 (中野支部)

これだけの人数の総代会をまとめ、かつスムーズな議事進行には時間厳守は重要なことであり、それができたことは良かったと思います。東都生協のいい所は、きちんとした理念を持ちながら、個々の事情に合わせ柔軟に対応できる点です。今後もその長所を大事にし、産地とふれあい、生産者との信頼関係を築ける組織であってほしいと思います。



こうざき 神崎 睦子 (杉並西支部)

はじめて総代会に参加しました。これまでは商品を購入するだけという深く考えたことはありませんでしたが、今回、東都生協の組織のあり方が見えた気がします。反対意見もちゃんと吸い上げる組織なのだ、と実感しました。夫の転勤のたびその地区の生協に加入しましたが、東都生協の商品は安心で良いと思っています。今後も期待しています。



審議内容(抜粋)

議長の指名により、発言希望者15人全員が議場前方の発言席で発言し、議案を審議しました。
※発言者顔写真と審議内容は一致しません。



原発事故への対応について

総代会で配布された『私の意見、思い』集にたくさんの方の原発についての意見があり、うれしく思いました。東都生協は国に対して「原発やめてください」と言っべきです。

理事会からの説明

東都生協は原発からの転換は必要だと考えます。私たちのくらしの見直し、地球温暖化の問題、代替エネルギーなどを考えていく中で、東都生協の政策として整理していきたいと考えています。各地域で学習会以外にも、全体としての学習や議論の場を早急に具体化していきます。放射能の被曝の問題は本当に心配ですが、現在の暫定規制値は、国際的にみても妥当だと判断しています。今後も、放射能の検査、モニタリングは継続し、組合員がより良い購買選択ができるよう情報提供をしっかりしていきます。

店舗づくりについて

東都生協にとってどういう店舗づくりをしていくのか、方向性を明確にし、組合員の目標で検討していくべきです。グリーンハウス20周年を機に、過去から学び、確固たる存在意義の感じられる店舗づくりをしてください。

理事会からの説明

東都生協の店舗のポイントは「小型店」「産直青果物を中心に」「効率的な事業展開」です。また、高齢者向けの「御用聞き」やインターネットの活用、さらには生産者とメーカーとのつながりが実感できる店づくりも急務と考えます。組合員にワーカーズをつくらせてもらい、ワーカーズに店舗運営を任せることも考えています。店舗事業については、今年度中に方向性を明確にしたいと思っています。



弁当配食事業について

東都生協の食品はお米だけで、それ以外の食品は市販の商品を使って格安の弁当を提供することに疑問を感じます。産直で安全安心な東都生協の商品を望みます。

理事会からの説明

確かに、産直や国産原料を使った弁当が理想的ですが、今は価格を抑えられず、一部の高齢者の方にしかサービスを提供できません。まずは年金生活者を含めた高齢者の栄養管理と安否確認活動を優先し、今後段階的に産直原料使用や弁当の複数アイテム配置などを考えていきたいと思っています。

新スタイル案・「規約」の一部改正について

組合員組織改編しフレキシブルな体制づくりに反対はしませんが、議論が尽くされない中、「規約」を「規程」に変えることに反対です。また、新スタイル案をすすめるよりも、今すべきことは活動の基本であるブロック活動を徹底させ、ブロックからの声に耳を傾けることです。

理事会からの説明

スタイル案については、具体性に欠ける、議論不足、賛否の意思表示がでなくなるなど、多くの意見をいただきました。スタイル案も規程も、合意形成なくしてスタートはしません。ただ、第4号議案の「規約」を「規程」に改正する件ですが、組合員組織の問題は柔軟性やスピード感を要するため、小回りのきく理事会決議のほうが良いと考えます。ただそのためには、理事会と総代、あるいは理事会と組合員リーダーとの信頼関係が必要です。理事会は丁寧な議論と合意形成に努めますので、皆さんも将来に向け、より良い組織ができるように積極的の参画をお願いします。

総代より

東都生協が生き残るには、産直、協同「民主」の理念を貫きながら思い切った改革が必要です。そのためには①組合員を増やす、②供給高を上げる、③高齢者や若い世代に役立つ生協をめざす、④みんなが目標達成に協力し合い、活動の結果を評価し合う。このような仕組みの強化を望みます。

理事会からの説明

4つのご提案は生協としてあるべき姿です。多様な人々を受け入れ、誰もが組合員活動に参加・参画できる基本を大切にしていきます。



2011年度役員新体制
退任役員を代表し、橋本恵美子理事から「在任中多くの出会いがあり、皆さんからたくさんのお話を聞いてもらって支えられました。これからもみんなで協力し、不安を安心に変えられるよう皆さんとつながっていきたく思います」と退任のあいさつがありました。

採決結果

採決は、議場を閉鎖して行われました。 総代総数591人 出席総代576人(代理出席・書面出席を含む)

議案名	結果
第1号議案 2010年度活動・事業報告および決算・剰余金処分案決定の件	賛成多数で可決
第2号議案 2011年度活動方針・事業計画および予算・投資決定の件	賛成多数で可決
第3号議案 定款の一部改正の件	2/3以上の賛成で可決
第4号議案 規約の一部改正の件	賛成が過半数に達せず否決
第5号議案 組合員除名の件	2/3以上の賛成で可決
第7号議案 議案決議効力発生の件	賛成多数で可決

※第3号議案、第5号議案は2/3以上、それ以外の議案は出席総代の過半数の賛成で可決となります。
※第6号議案については、選挙区ごとの役員候補者が定数内のため、役員選挙規約に則り候補者全員を当選人としました。

2011年度予算および投資・資金計画

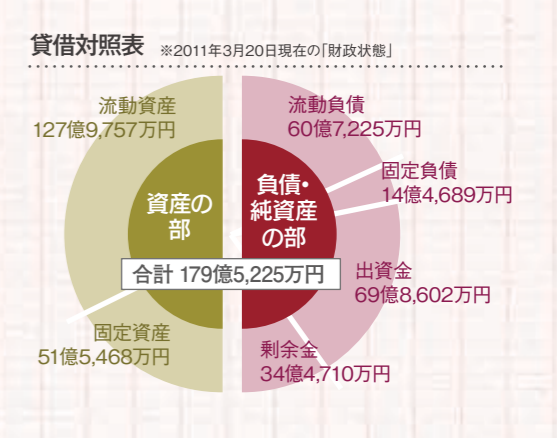
I 供給事業	340億 110万円
1.供給高	77億2,510万円
2.供給剰余金	
II その他の事業収入	8億8,190万円
事業総剰余金	86億 700万円
III 事業経費	90億9,730万円
事業剰余金	▲4億9,030万円
IV 事業外経費	2億2,190万円
経常剰余金	▲2億6,850万円
V 特別損益	▲6億2,390万円
税引前当期剰余金	▲8億9,240万円

損益計算書

※2010年3月21日～2011年3月20日までの「経営成績」

I. 供給事業	338億5,906万円	IV. 事業外収益	2億7,949万円
1.供給高	266億2,833万円	V. 事業外費用	2,882万円
2.供給原価	75億1,200万円	経常剰余金	412万円
供給剰余金		VI. 特別利益	3,446万円
II. その他の事業収入	5億2,710万円	VII. 特別損失	1億5,363万円
1. 個配手数料	3,985万円	税引前当期損失金	▲1億1,505万円
2. 生活文化事業手数料	2億9,769万円	法人税等	2,926万円
3. 受入受託共済手数料	83億7,665万円	当期損失金	▲1億4,430万円
事業総剰余金		前期繰越剰余金	3億2,369万円
III. 事業経費		当期未処分剰余金	1億7,938万円
1. 人件費	44億3,842万円		
2. 物件費	41億8,478万円		
事業損失金	▲2億4,655万円		

※すべての項目において1万円以下四捨五入。





今こそつながろう。産地と私たち

私たちの暮らし、そして食を支える産地の環境が、これほど不安な状況に陥ったことがあるでしょうか。消費者と生産者、ともに安全で安心して暮らせる暮らしが何よりも大切。今こそお互いがつながり、協力して乗り越えていきましょう。

5月21日(土)、都内3カ所(ふれあい医療生協 梶原診療所、阿佐ヶ谷駅南口パルロード商店街、全農パールライス調布精米工場)で、「マルシェ」を開催。生産者とともに職員・組合員が被災地支援として農畜産物などを販売しました。調布会場では(農)房総食料センター(千葉)、(農)埼玉西部産直グループからたくさんの野菜が運び込まれ、大玉レタス、採りたてトマト、そのほか葉物野菜などバラエティに富んだ旬の品々が並びました。近隣の組合員やまだ組合員でない方々も次々と買い求め、大盛況のうちに2時間ほどで幕を閉じました。売り上げの一部は、東都生協が取り組んでいる「東日本大震災支援募金」に充てさせていただきます。

生産者の苦悩(調布会場参加の生産者)

生産者からは「残留放射能の問題より、価格が安いと売れるのが現状。手間をかけて作っているし、今後の生産を維持していくには、これ以上単価は下げられない」「震災の影響は長期化するし、この状態が続くようなら生活への不安も出てくる」など、深刻な声が尽きませんでした。



2011年度 「私たちがめざすもの」

「食の未来づくり運動」を基軸に組合員の願いに応え、暮らしに貢献できる生協づくりをすすめます。



私たちの食と農をめぐる情勢は、かつてないほど世界的に、複合的に、そして急速に悪化の一途をたどり、その持続可能性を喪失しつつあります。それは世界人口の増加、生活水準の向上、自動車燃料への穀物利用といった需要側の問題と、耕作地の減少、農業用水の不足、収穫量の頭打ち、気候変動による影響といった供給側の問題が山積しているからです。そのような中、食料の安定確保、環境にやさしい持続可能な農業と社会の確立をめざした「食の未来づくり運動」の役割使命は、消費・流通・生産のあり方を問い直すだけでなく、日本の食料安全保障や国際社会での責任を考える観点からも、ますます重要性を増しています。さらに東日本大震災は、「食の未来づくり運動」のあり方に大きな問いを投げかけています。

私たちは、2011年度も「食の未来づくり運動」を事業と活動の基軸に置き、世代構成の幅が広がり多様化した組合員の願いに応え、暮らしに貢献できる生協づくりをすすめます。また2011年度は、2020年に向けたビジョンと中期計画づくりをすすめる年度としても重要です。より厳しい事業環境・事業状況の中であっても、力を合わせ、展望を切り開くことのできる中長期方針づくりをめざします。

<総代会で確認された2011年度活動方針・事業計画より>

多くの消費者から期待され、東都生協を「つくり直す」思いで組織づくりを

理事長 庭野吉也



第37回通常総代会を開催し、2011年度の活動がスタートしました。昨年度末の3月11日には、東日本大震災が発生し、地域経済や産業を破壊して、多くの尊い命が奪われました。東都生協の提携産地・メーカーも多くが被害にあわれ、さらには、地震直後の原子力発電所の事故は飲料水や食料品への不安や環境被害をもたらし、風評による消費者の買い控えが、今も生産者を苦しめています。また同時に、大震災によって日常の消費材や必需品が、いかに多くの地域や人びととつながっているかを、あらためて認識することができました。今年度は、東日本大震災からの復旧・復興というプロセスの中に、東都生協の事業と活動を位置づける必要があります。総代会においても、被災地および産地・メーカー支援と、商品の安定調達に向けた対応などを確認いたしました。

一方で、大震災以前から経済は停滞し、雇用情勢は厳しく、所得も伸び悩み、雇用保険料や年金保険料が引き上げられ、家計負担は増大し続けています。また、世界人口の増加、新興国の需要増、異常気象による影響などから、近い将来、食糧の需給の逼迫と価格の高止まりはほぼ確実です。しかも政府はTPPへの参加を、先送りはしました。東都生協は引き続き、国内生産基盤を破壊し、経済の低迷に拍車をかけるTPPへの参加に断固反対し、創立以来38年にわたって取り組んできた産直を強化します。また今年度、東都生協は2020年ビジョンと中期3カ年計画の策定に着手します。私たちの暮らしが厳しさを増す中において、時代を正しく認識し、どのような形で組合員の暮らしに貢献できるかという視点から考える作業が求められます。作業の過程では、時に厳しい議論も必要かと思えます。しかし、より多くの消費者から期待を寄せてもらえるよう、安全・安心はむろんのこと、ライフステージに合った品ぞろえと価格対応をしていきます。そして、従来の思考にとらわれずに、東都生協を「つくり直す」という思いで活動をしていきたいと思っています。

「震災に負けるな! 風評被害に負けるな! 日本の農畜産物を たべよう! マルシェを開催!」



今こそ つながろう。産地と私たち

産地と私たちの信頼関係・きずなを大切に！

ほうれん草の出荷が可能になった直後の4月15日、群馬県の「くらぶ草の会」を訪ねました。印象的だったのはほうれん草のハウス8棟中6棟が出荷できないのに、約束だからと次の種をまき、ほうれん草を育てていたこと。

「約束の言葉に、産地と東都生協、組合員が培ってきた信頼関係があることをあらためて実感しました。しかし今、約束の量の野菜を引き取り、お届けすることができません。消費者の選択肢が増えることと生産者の立場の弱さを感じます。一方で組合員の「小さい子どもには…」という気持ちも理解できないものではなく、もどかしい思いです。(農産グループ 松村奈穂子職員)



商品担当者へ聞く

今こそ産直の輪を広げたい。

震災から4カ月、あらためて生協職員として、また「消費者として何をすれば良いのか、と考えない日はありません。今までどおりでは変えられない。何かアクションを起こさずさだと思いません。産地は「来てほしい、見てほしい、そして感じてほしい」と訴えています。東都生協に対する期待も大きいものです。

生産者、組合員、東都生協、みんな安全な食べ物安心して作りたいし、食べたいし、届けたいのです。東都生協は「産地直結」の産直です。今こそつながって、さらに大きく輪を広げていきましょう。

組合員の皆さんには、ぜひ産地交流訪問などを通して産地の現状を感じて、一人ひとりができることを行動に移していただきたいと思います。(農産グループ 林秀明職員)



応援しよう！ 関東の農畜産！ 三陸の水産！

東都生協が大切にしている関東の農畜産産地、三陸の水産産地は、さまざまな被害に遭いながらも頑張っています！
今、生産者が思うこと、組合員の応援の声、東都生協の支援の取り組み…お伝えします！



3月22日、茨城県の一部地域で、規制値を超える数値が出たため、(農)茨城県西産直センターのほうれん草も出荷停止中。

関東産の野菜 緊急応援企画 「関東をたべよう! BOX」を実施!

福島第一原子力発電所の事故以来、関東産野菜の利用が大きく減りました。(農)茨城県西産直センターでは、東都生協が行った野菜残留放射能検査には問題はなく、その後の検査でも暫定規制値を大きく下回っています。それでも茨城県産というだけで不安に思われてしまう現実が…。組合員の喜ぶ顔を思いながら大切に育ててきた野菜が畑に残ってしまいう状態でした。

そこで、生産者が大切に育てた野菜を「食べる」として応援しようと、関東産野菜5〜6品目を詰めた野菜ボックス「関東をたべよう! BOX」を4月4回と5月1回に企画。(農)茨城県西産直センターなど関東5産地からのとれたての野菜を詰めました。このほか「JAやさとの有機野菜おまかせセット」「埼玉産直センターの野菜セット」などのセットは、産地応援に直接つながる企画。今後も続けていきます。

●企画の利用……………インターネット限定で案内した4月4回は1,440点、チラシで案内して注文書で受け付けた5月1回は2,333点の利用がありました。

みんなで三陸の再開を待ちましょう!

三陸の水産

東都生協が扱う三陸産商品といえば「東都わかめ」「めかぶ」「かき」。肉厚の三陸産「東都わかめ」(株)タテカコーと(有)本多商店により、組合員向けに生産は、1992年からの人気商品です。

東都わかめは、2010年12月4回、2011年3月3回まで毎回平均約2,000の利用がありました。震災の翌週3月第3週からゼロになり、「3月3回より全品欠品」という状況に…。「徳用とろろめかぶ」も同様です。震災と津波で工場が壊滅し、美しく栄養豊富な三陸沿岸が大きな被害に見舞われたからです。

今後、三陸では工場の再建はもとより、わかめやかぶを育てる海の畑の整備がすすめられます。冬にうれしい「かき」も含め、再び私たちの元に届く日を心から待ち、再開したらみんなで利用しましょう!!

今回の震災で、おなじみの「魚つきの森」表浜産の「めかぶ」「かき」は全滅。「三陸産めかぶ」をわずかに確保できた状況です。元に戻るには数年かかるかもしれません。でも、三陸は必ず復活します。どうか組合員の皆さん、長い目で見て待っていてください。生産者の皆さん、私たちは待っていますよ。(食品グループ 久保修一職員)



震災前の美しい三陸の海

「海づくり運動」で三陸を応援

2009年4月から、「三陸牡鹿表浜魚つきの森植樹協議会」「東都生協・宮城県漁協表浜支所(株)マルタイ長沼の三者で発足」を通じて、豊かな海と川を育てる「魚つきの森」活動に取り組んでいるところでした。今回の震災で、宮城県漁協表浜支所と(株)マルタイ長沼は甚大な被害を受けながらも復興に向けて頑張る決意を固めています。東都生協は、組織を挙げて三陸牡鹿表浜の豊かな海を取り戻すための「復活!! 三陸牡鹿表浜海づくり運動(仮称)」に取り組んでいます。

※「魚つきの森」活動：山に植樹して海を豊かにする活動。木を植えると、その落ち葉が豊かな腐葉土となってミネラルなどの栄養が蓄えられます。この栄養が川から海へと運ばれ、これを摂取したプランクトンが増え、プランクトンを食べる小魚が育ち、豊かな海が作られるのです。

「関東をたべよう! BOX」に寄せられた声

生産者から

●原発事故の影響で関東産野菜の利用は落ち込み、価格も暴落…そんな中、東都生協から毎週注文が入り「産直をやって良かった」と痛感。皆さんの「おいしかった!」の声を励みに今後栽培に取り組みます。
[JAやさと 野菜果物産直協議会]

●野菜はもう出荷できなくなってしまうかと思ったけれど、注文をいただいてうれしかった。買い支えてくれる人たちに感謝します。今後、青年部が出荷する「なす」「枝豆」「ピーマン」など夏野菜もお楽しみに!
[(農)房総食料センター 青年部一同]



東都生協とつながって良かった! 6月1回の商品案内で「やさとの産直やさいセット」「有機野菜おまかせセット」などを企画。風評被害には負けません! (JAやさと 生産者・広沢和善さん、剛さん親子)

組合員から

●野菜のほかに、生産者を助けたいという職員の思いもいっぱい詰まっています、おなかも心も満たされました。

●「何が入っているかな〜!」とワクワク箱を開けました。頑張って、私たちを信じて、種まきをしてください!!

●どれも「わかばマーク」の安心で新鮮な野菜ばかり。茨城・埼玉・千葉の生産者の方々の誇りと愛情を感じました。

●東都生協の野菜がおいしいのは、生産者が私たちを信じてくれているから、とあらためて気付かせてくれました!

放射性物質、放射線についての正しい知識を!

3月11日の巨大地震と大津波、これに伴い発生した福島第一原子力発電所の放射能漏れ事故の影響で、私たちは今も目に見えない放射能の怖さに不安な毎日を送っています。農畜水産物への影響に関して組合員から寄せられた声を受け、「放射性物質、放射線の基礎学習会～福島第一原発事故を受けて～」と題し、学習会が開催されました。

5月12日、東都生協の安全・品質管理部の新谷喜久夫部長の学習会は二部構成で実施。第一部は、放射性物質、放射線の基礎知識として、あらかじめ配られたレジュメと、スライド形式により語句などを解説。第二部は、原子力発電の基礎知識として、原子力発電の概要、メリットとデメリット、事故事例、福島第一原発の事故概要、原子力発電の問題点のまとめが述べられました。

第一部 <抜粋>

- 放射線…「波長の短い電磁波」および「高速で動く粒子(ビーム)」のこと。①物質の透過作用、②物質を透過する際、その物質の原子・分子にエネルギーを与えて陽イオンと電子に分離する電離作用、③物質に当たると特有な光を放出させる蛍光作用、④写真フィルムを感光させる感光作用などがある。
- 放射能…放射線を出す能力のこと。ある種の原子が「放射線」を出して別の種類の原子に変わる性質をいう。
- 放射性物質…放射線を出しながら、別の元素になってしまう物質のこと。体内の放射能汚染は、放射性物質そのものを水や食物とともに取り込む場合に起こる。
- 放射線の体への影響…放射線を浴びても放射能は体内に残らない(レントゲン撮影しても体が放射能を帯びるわけではない)。放射線を浴びると、体内の細胞が傷付くが、線量が低ければ、通常の身体回復機能で修復される。しかし、細胞の放射線感受性は①細胞が未分化なものほど、②細胞分裂が盛んなほど、細胞の一生のうち分裂期が長いものほど高いので、乳児・幼児への影響が高い。

第二部 <抜粋>

- 原子力発電…蒸気でタービンを回して発電するという原理は火力発電と同じ。火力発電はボイラーで化石燃料を燃焼させた熱、原子

力発電では原子炉でウランを燃料とした核分裂エネルギーの熱で蒸気を発生させている。

- 原子力発電のメリットとデメリット…原料のウランは石油に比べ安定確保できる。CO₂を排出せず、低コストである。一方、強い放射線を出す「高レベル放射性廃棄物」が必ず発生する。廃棄物の放射能レベルの低下には数万年かかる上、放射性廃棄物の保管場所もない。300m以深の地下に処分する計画(地層処分)も進んでいるが、使用済み燃料の再処理も含め、問題は多い。

5月17日は、日本大学歯学部アイソトープ共同利用専任講師・野口邦和先生を迎えての学習会。基礎知識として、原子炉内から漏れ出したヨウ素・セシウムの特長や暫定規制値の設定、残留放射能の問題などさまざまな角度からお話を伺うことができました。一番の関心である食に関しては、「市場に出ているものには規制値を超えているものはない。平均的な食事をしている人には問題はない」とのことでした。

どちらの会場にも多くの組合員が足を運んでいて、関心の深さをあらためて実感しました。原発事故の終息はまだまだ見通しが立ちません。今後とも私たちには冷静な判断が求められます。



5月17日学習会の講師 野口邦和氏

「ミネラルウォーターでなくても大丈夫ということが分かった」

「東都生協の検査で適合の場合、放射性物質はごく微量で人体には影響がないと分かって安心した」

「原発事故について、いろいろ事例を説明してもらえてよかった」

「東都生協の放射性物質の自主検査はありがたいと思う」

参加者の声

放射線学習会での 主なQ&A

Q 放射性物質の値は微量であっても、人体に蓄積されるのでは?

A 暫定規制値以下の食品であれば、摂取し続けても、ただちに人体に影響が出ることはありません。ただし、被曝はできる限り低く抑えることが肝要であり、より汚染の低い食品を選ぶことは賢明な対応といえます。

Q 乳幼児にミネラルウォーターを与えるべきでしょうか?

A 一時報道された時のように、高濃度の放射性物質が水道水に含まれている場合は必要です。今は東京都では「検出せず」となっており不要です。

Q 放射性物質が肺に入ったから、体外に出にくいと思われませんが、対策をしなくて良いですか?

A 大気中の放射線量が高い地域では、マスクをしたほうが良いでしょう。

Q 東北や北関東の野菜は、放射性物質が心配なのですが…

A 不安なまま食べた場合の「心労」も体に良くないため、心配な方は、ほうれん草などの葉物は避けたほうが良いかもしれません。

食の安全・安心推進グループの活動スタート!



「口に入るものが本当に安全かどうか確かめたい」「流通経路や農薬チェックをしたい」「安全・安心がどう守られているのか学びたい」「商品案内の内容を知りたい」と今回のメンバーも頼もしい限り。さらに、この活動で得た知識を「紙面などで報告」できる機会があればいい。「東都生協の商品を使用するときに、身近な人、他の組合員、家族にも安全・安心の姿勢を伝えていきたい」と意気込みを見せています。きつと実践して、広めてくれることでしょう。



「おいしかった!」を生産者カードで伝えよう

東都生協は産地とのつながりを大切に、組合員、生産者が一体となって、おいしい商品を作り上げています。皆さんが、生産物を直接味わった時の感想、おすすめコメントなどを生産者に送ることで、その距離はますます近くなります。

まして「コメント」を書いてください。東日本大震災後、生産者も組合員も大変な時期ではありませんが、国内産の農産物、牛乳などたくさん利用し、生産者の力になるような声を出していきましょう。

商品ワンポイントアドバイス

①品名	②原材料名	③内容量	④賞味期限	⑤保存方法	⑥製造者
どら焼き	小倉餡(小豆、砂糖、水飴、食塩、天草)、小麦粉、鶏卵、砂糖、牛乳、はちみつ、みりん、植物油、膨張剤(炭酸水素ナトリウム)、乳化剤(グリセリン脂肪酸エステル・レシチン) (原材料の一部に米、大豆を含む)	5個(1個60g)	枠外裏面下部に記載しています。	高温多湿・直射日光を避け、冷暗所に保存してください。	〇〇株式会社

加工食品の場合、消費者が必要な情報は、一般的に商品包材の「一括表示欄」に記載する決まりになっています。

表示例の②「原材料名」の欄には原材料、食品添加物、アレルギー物質が記載されています。原材料名の記載は、「食品原料を配合割合の多い順に記載」し、その後に「食品添加物を多い順に記載」します。

なお、アレルギー物質は、原材料ごとに記載する場合(例:しょうゆ(小麦・大豆を含む))と、原材料表示の最後に「一括して」原材料の一部に〇〇を含む」と記載する場合があります。

表示の見方について

知っておきたい! 用語解説

ひとこえ生協

組合員の声を生産者に伝えるしくみです。商品だけでなく、業務や運営への要望・意見・質問などなんでも受け付けています。東日本大震災で被災された産地・メーカーへの激励メッセージも募集しています。



「ひとこえ生協」に寄せられた質問にお答えします！

Q 「国産応援ポイント」を義援金に振り替える制度を検討しているんです。

A ご意見は早急に実現させていきます。組織確認後、組合員へは、7月ごろ配布のチラシでご案内できるように準備を進めます。

Q 「徳用りんご(ふじ)5個」が全部ぶかぶかして食べて食べられません。

A 今お届けしているりんごは昨年収穫して、冷蔵貯蔵したものです。出荷時に光センサー選果機で検査をして、品質不良の選別をしてからお届けしています。ただし、収穫した時点で熟度が高すぎると冷蔵庫から出庫後に果肉が軟らかくなりやすい傾向があります。今回お届けしたりんごも収穫時の熟度が高く、時間の経過とともに果肉のしまりがなくなり、食味不良につながったかと思われます。出荷時の検品強化、収穫時の状況を考慮した選果強化を産地に申し入れるとともにセットセンターでのサンプリングや試食の頻度を高めさせていただきます。



Q 「関東をたぐりBOX」の企画をとてもうれしく思います。利用している消費者がいろいろのことを生産者にお伝えしたい。東京の消費者にできることがあれば、また企画してほしいです。

A ご意見ありがとうございます。いただいたメッセージは、各生産者に伝えます。今後も、風評被害で苦労している産地への応援企画を検討していきます(5月18日現在で110件を超える応援メッセージをいただいております。それらは一覧にして関東の生産者団体にお送りしました)。

Q 東日本大震災の被災者のことを考えると胸が痛みます。東都生協の募金受付は延長できませんか。一度に多額募金は無理でも、注文書に募金欄を設ければ、少しづつ簡単に募金できると思っています。

A 震災に関する支援募金については、8月4日(注文日8月15日)まで継続して受け付けています。当初のご案内で「4月15日まで」としたのは、組合員からの募金総額をいったん(5月6日)座振替で(確定した)うえで被災地へ送金するためです。

産地・メーカーへの支援については、まずはこの募金から振り分けていきます。募金額や送金内訳は組合員に随時お知らせしていきます。今後も復興支援企画などを検討しています。また、今後の募金方法についても、組合員活動情報紙「つよ」などでお知らせしていきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

Q 3月1回企画「かぞの豚ロースしょうが焼き用」は、硬く凍りついていて、半量ずつ使い分けたいのですができませんでした。冷凍肉では、はがれやすいものもあります。必要量だけ解凍できるような工夫をお願いします。

A ご不便をおかけし申し訳ありません。「かぞの豚」の商品すべて、1枚ずつはがれるように製造工程の切り替えを検討中で、3月には新しい製造工程で製造した製品をインターネット限定で試験販売しました。また、半量に分かれた商品についても、少量×2パックという限定商品も新規製造することを検討しています。今回のご要望は、今後の商品開発にかかっています。

Q 残留放射能の検査結果を公開していただき助かります。今後でもできるだけ多くの品目について、数値を公開していただくと。

A 東都生協の基幹商品となる牛乳とたまご、関東産加工品の中で企画頻度が高く利用点数も多い納豆の3種類については、残留放射能検出の有無にかかわらず週1回の検査を当面継続します。また4月中旬以降の自主検査の傾向を見ると、野菜類からの残留放射能の検出数、検出値は明らかに減少・低下しています。1検体の残留放射能を測定するには前後の処理作業を含め2時間弱を要しますので、1日に測定できる検体数には限りがあります。このため現在、野菜類を検査対象から相対的に減らし、各種報道や行政情報などで取り上げられ、社会的に注目されている商品種類、さらに東都生協が今季はじめて企画する品目を重点的に選択するようになっています。具体的には、水産品(茶葉、しいたけ、すいか、梅などがこれに該当します)。もちろん野菜類についても、必要と思われる産地や品目は検査を継続します。実施した検査の概要については、これまで6回にわたって「放射性物質の農水産物への影響に関する当面の対応」チラシを発行し、お知らせしました。今後とも、組合員の要望を踏まえた情報開示を進めていきます。



Q 「つかうつきりポークウインナー」はミニサイズであることを明記してください。

A ご指摘ありがとうございます。分かります。2回の商品案内より商品名に「ミニ」の表記を追加しました。



クイズ応募はがきで見つけた、コメント紹介

🌸 八千代牛のステーキは最高です！今年の連休は家族みんなでステーキを楽しみました。ごちそうさまでした、モグモグ！！
文京区 小林昭子

🌸 食事をきちんととっていると、心も整い、さわやかな気持ちで日々を過ごすことができます。その気持ちを実感できるように、東都生協を利用しています。
文京区 高橋正子

🌸 毎日、豆乳飲料麦芽200mlを飲んで、健康に過ごしています！
葛飾区 小林絳子

🌸 東都生協の取引先の被災状況を見ました。亡くなった方もいらっしゃるって胸が締め付けられます。食べ物への感謝の念が深くわいてきます。
江東区 片岡初子

🌸 私は三陸わかめが大好きです。東日本大震災からの一日も早い復興を心より祈っています。
日野市 佐田悦子

🌸 わが家は、魚・野菜中心の食事で、新鮮な材料で手づくりすることを心がけています。
中野区 小山俊子

🌸 東都生協にはいつもお世話になっています。子どもたちも、食材が届くのを楽しみにしています。大好物はおさかなソーセージ(私はコーヒー大福!)。
世田谷区 菅家京子

よく利用する登録商品！

🍎 スキスキメニュー わが家では「米」を登録しています。注文を忘れても「ちゃんと」届くところが良いですね。もちろん品質もとても良いですよ。
葛飾区 山本明子

🍎 スキスキメニュー お米と牛肉を登録していますが、特に今回の大震災では、お米の登録のありがたさを実感しました。買いに行く手間が省けることはもちろん、定期的にお供へしていただき、助かりました。
中野区 清時加代子

🍎 スキスキメニュー 東都青果ボックス(隔週)を母が注文してくれています。自分では苦手意識があったり、レシピを知らないためになかなか買わない野菜も入っていますが、ネットで利用法などを調べて残さず食べるようにしています。レポートが格段にアップしました！
杉並区 池田佳子

🍎 スキスキメニュー たまごと牛乳はいつも頼んでいます。これからもこれは続けていきます。
西東京市 指田恵美子

🍎 スキスキメニュー 価格の変動のない点が良いと思います。
葛飾区 高丸美子

MOG MOG 穴埋めクイズ

参考にしてはがきを書いて送ってね。

- クイズのこたえ
- 住所/氏名(お子さんは学年も)/電話番号/センター・ブロック・班名
- 東日本大震災の復興に向けてひと言
- 食の未来づくり運動「私にできること(私の宣言)」
- そのほか、イラストや一言コメント・感想など、なんでもどうぞ！

それぞれの問いに答えて、abcdeをつなげてください！

- 1 夏はやっぱりカレー ○○○(a)。
- 2 夏休みの○○○(b)教室のおかげで泳げるようになった。
- 3 男の子が夢中になる昆虫は、クワガタと◎○○○○。
- 4 太陽に向かって咲く黄色の花は○○(d)(e)。

正解者から抽選で10人の方に 図書カードをプレゼント。



6月号の答えは「ちのひ」だよ！

※おたよりや個人情報は、「MOGMOG」でご紹介する場合がありますが、編集目的以外への使用はいたしません。※おたよりへの個別回答は行っておりません。締め切りは7月27日(水)の消印まで有効。

あて先 〒156-0055 世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4F 「MOGMOG」係

東京都暮らしの助け合いの会
兼 ほっとはんど

「ほっとはんど」は、助け合いの精神に基づき、手助けを必要とする組合員への家事援助活動を行っています。
◇活動内容: 保育、料理、掃除、洗濯など、誰にもできる家事援助
◇活動時間: 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
◇活動地域: 都内全域
◇依頼内容や地域によりお応えできない場合もあります。ご不明な点はお問い合わせください。パンフレット請求可。
◇年会費: 1000円 返金不可。会のしくみをご理解のうえ、お申し込みください。
◇希望の会員種別のコードをOCR注文書の特別企画注文欄に記載してください。

援助をする会員登録コード **3659555** で **1** です。
援助を受ける会員登録コード **365963** で **1** です。
賛助会員登録コード **365971** で **1** です。

問い合わせ【ほっとはんど事務局】
電話 03-5374-4748

4月のわたしたち
2011年4月20日現在 ※[]内は前年比

組合員数	229,407人	[100.6%]
加入	2,499人	[88.4%]
脱退	1,645人	[73.8%]

総事業高	3,288,180千円	[117.9%]
共同購入事業	3,258,062千円	
店舗事業	20,285千円	
生活文化事業	9,833千円	
その他事業	50,279千円	

出資金	7,032,476千円	[99.5%]
一人あたりの出資金	30,655円	[98.9%]

HELLO 編集後記

第37回通常総代会が開催され、2011年度の活動が本格的に始まりました。今年度はもっとたくさんの組合員が組合員活動にかかわることができるように組み立てを話し合い考えていく1年になります。

“組合員活動”という言葉が堅苦しいのかなあ…だから、「○○な企画に参加してね」「一緒にやってみませんか」というお誘いに、私も「残念だけど…」「ちょっとねえ」と言ってしまう、逆にこちらから誘っても断られたり…ということがしばしばあるのかもしれない。

商品を利用することも組合員活動といいますが、生産者やメーカーとの交流、食や平和・環境についての学習、生活の中での関心事を仲間同士で話し合うことなどができるのも、東都生協だからこその特典かも。活動に参加するだけでなく、作りあげていく立場になるのも魅力的ではありませんか？

(Y.O)

- 2010年度第15回定例理事会 2011年4月14日(木)
- 【審議事項】
 - 第37回通常総代会における組合員除名の件
 - 第37回通常総代会議案書討議の件
 - 組合員常任理事を除く全休区理事候補者推薦の件
 - 【報告事項】
 - 2010年3月度決算概況報告
 - 各部業務報告
 - 洗びん事業関連報告
 - 組合員活動委員会報告
 - 商品活動関連報告
 - 第37回通常総代会議案書の別冊資料確認の件
 - くらしフェスタ東京2011(東京都消費者月間)実行委員選出の件

- 今後の定例理事会日程予定
7月21日(木)、8月25日(木)、9月22日(木)
- 2010年度第16回定例理事会 2011年5月6日(木)
- 【審議事項】
 - 2010年度決算および剰余金処分案修正の件
 - 第37回通常総代会提案議案 定款の一部改正の件
 - 第37回通常総代会提案議案 規約の一部改正の件
 - 第37回通常総代会提案議案 規約の一部改正の件
 - 【報告事項】
 - 組織運営部業務報告
 - 2010年度環境管理活動の報告の件
 - 第37回通常総代会役員選挙の立候補届出受理に関する件
 - 関係会社の状況報告に関する件
 - 東日本大震災対応のふりかえりと今後の方針の進め方の件

MOGMOG レポート1

監事会だより

監事会は、第37回通常総代会に2010年度監査報告書を提出しました。2011年度は、年間4回の会計監査、年間2回の業務監査、いくつかのセンターや部署の監査のほか、公認会計士との懇談会、理事長と専務理事との懇談会を予定しています。

また、今年度より(社)日本監査役協会に入会し、日本生協連主催の監事研修に参加する予定です。2010年度下期(2010年10月以降2011年5月)に監査を行った部署は、安全・品質管理部、グリーンハウス、食品グループ、目黒センターでした。

【理事のマネジメント状況】
商品委員会、組合員活動委員会、総代学習会ほか、機関会議(総代会、理事会、常任理事会、総代会議)に出席しました。

MOGMOG レポート2

祝 * 産直のひろば グリーンハウス20周年!

今年7月12日、グリーンハウスはオープン20周年を迎えます。これを記念して、7月9日(土)～22日(金)の期間、20周年祭を実施。日ごろのご利用に感謝し、さまざまなイベント・セール品を提供します。地元小金井の新鮮野菜、築地市場から入荷した鮮魚といった共同購入にはない商品や、(有)須黒食品のできた豆腐など、ぜひお試しください。

組合員であれば、どなたでもご利用いただけます。この機会に足を運んでみませんか？

産直のひろば グリーンハウス
東京都小金井市本町1-10-3
TEL 042-382-7361

- 営業日 月曜日～土曜日 (日曜日定休)
- 営業時間 午前10時～午後7時30分

※詳細はホームページをご覧ください。グリーンハウス店までお問い合わせください。※ご来店の際は組合員コードの分かるものをお持ちください。曜日サービスなどが受けられます。

インフォメーション

理事会報告 (抜粋)

2010年度第14回定例理事会 2011年4月14日(木)

- 【審議事項】
 - 2010年度決算および剰余金処分案決定の件
 - 2011年度予算案ならびに投資計画および資金計画決定の件
 - 2011年度情報公開審議会委員選出の件
 - 就業規則の一部改正の件
- 【報告事項】
 - 商品部業務報告
 - 安全・品質管理部業務報告
 - 商品活動関連報告
 - 2011年度食育推進チーム設置の件
 - 2010年度監事推薦委員会の推薦結果報告の件

- 2010年度第17回定例理事会 2011年5月6日(木)
- 【審議事項】
 - 2010年度決算および剰余金処分案修正の件
 - 第37回通常総代会提案議案 定款の一部改正の件
 - 第37回通常総代会提案議案 規約の一部改正の件
 - 第37回通常総代会提案議案 規約の一部改正の件
 - 【報告事項】
 - 組織運営部業務報告
 - 2010年度環境管理活動の報告の件
 - 第37回通常総代会役員選挙の立候補届出受理に関する件
 - 関係会社の状況報告に関する件
 - 東日本大震災対応のふりかえりと今後の方針の進め方の件

MOGMOG レポート3

みんなの力で10万本!!
飲みましょう! お料理に使いましょう!

八千代牛乳10万本利用促進運動(2010年10月21日(木)～2011年度末)

東都生協の前身は「天然牛乳を安く飲む会」。八千代牛乳は組合員に人気のロングセラー商品です。しかし、近年の飼料の高騰や牛乳消費量の低下から、高品質の八千代牛乳も生産者が減少傾向にあります。

そこで、今後も安全でおいしい八千代牛乳を飲み続けられるように、

- 組合員が毎週1本以上の八千代牛乳を注文
- 定番利用や早朝牛乳、登録牛乳で毎週10万本以上の利用をめざす

という目標を掲げて利用促進に取り組みました。1月1回お正月企画では、目標48,000本に対して1,622本足りませんでした。4月3回企画では、目標の60,000本を上回る60,862本を達成できました。

目標達成は必ずできます! さあ、みんなの力で10万本へ!

MOGMOG レポート4

八千代牛乳でカッターチーズづくりに挑戦!
サラダに添えたり、ジャムと合わせてパンに、はちみつと合わせてデザートに!

材料 ●八千代牛乳 500ml、●レモン汁 大さじ3 ー約100グラムのチーズができます

作り方

1. 鍋に牛乳を入れて火にかけ、表面がぶつぶつしてきたら火から下ろす(約48℃)。
2. ①にレモン汁を加え、20秒ほどしたら木べらでかき混ぜる(すぐに固形と液体に分離)。
3. ポウルに載せたざるにさらしのふきんを敷いて②を流し入れ、ふきんの四隅をつまんで液を絞る。ふきんに包んだまま水の中でもみ洗いし、水気をよく絞る。
4. 皿に③を取り出し、冷蔵庫で冷やす。2～3日で食べ切りましょう。 ※約100グラムほど残る水分はホエーなので飲むことができますよ。

食の未来づくり運動 || 私の宣言 ||

行動目標1 食費の5割以上は東都生協の商品を利用し、食卓から日本の農業を応援しよう

行動目標2 年に1度は、生産者との交流や生産を支援する取り組みに参加しよう

行動目標3 1人が5人に地域で「食の未来づくり運動」を伝え、その輪を広げよう

みんなの力で10万本!!
飲みましょう! お料理に使いましょう!

八千代牛乳10万本利用促進運動(2010年10月21日(木)～2011年度末)

東都生協の前身は「天然牛乳を安く飲む会」。八千代牛乳は組合員に人気のロングセラー商品です。しかし、近年の飼料の高騰や牛乳消費量の低下から、高品質の八千代牛乳も生産者が減少傾向にあります。

そこで、今後も安全でおいしい八千代牛乳を飲み続けられるように、

- 組合員が毎週1本以上の八千代牛乳を注文
- 定番利用や早朝牛乳、登録牛乳で毎週10万本以上の利用をめざす

という目標を掲げて利用促進に取り組みました。1月1回お正月企画では、目標48,000本に対して1,622本足りませんでした。4月3回企画では、目標の60,000本を上回る60,862本を達成できました。

目標達成は必ずできます! さあ、みんなの力で10万本へ!

八千代牛乳の放射能検査結果(単位はベクレル/kg)

検査日	放射性ヨウ素	放射性セシウム(134・137)
4月18日	検出せず	0.6
4月25日	検出せず	1.5
5月2日	検出せず	検出せず

食品衛生法の暫定規制値 300 200

“牧草の放射性物質モニタリング検査結果”への千葉北部酪農農業協同組合の対応

千葉北部酪農農業協同組合では、生産者に福島第一原発事故後に刈り取った牧草などの自給飼料を牛に与えないよう指導、徹底しています。また、自主検査として定期的に八千代牛乳、八千代ビーフの放射性物質検査を行い、ヨウ素131、セシウム134・137ともに暫定規制値以下です。今後も給与飼料管理の徹底、定期的な製品モニタリングなどを実施していきます。なお、この件に関する詳細は千葉北部酪農農業協同組合ホームページをご覧ください。

皆さんにできることは…何ですか?

あなたに「できること」を宣言しましょう! はがきに書いて『MOGMOG 私の宣言』係へ!

かぜのつばき

将来の農業を担う若者たちを応援

常務理事 風間 与司治

都心から約70キロ、筑波山系に囲まれた、昔の自然がそのままに残るJAやさと(茨城県石岡市)。90年代に東都生協の「地域総合産直」という産直戦略のもと、農村と都市の共生をすすめる、食料調達の総合基地として、農業や農村文化、自然の学びと癒しの場として位置付けてきました。また、毎年約1,200人の組合員が交流訪問し、延べ約1,700人の都内小中学校の生徒が農業体験に訪れます。

加えて有機農業が盛んな地域であり、JAやさとでも10年以上前から新規就農者向けファーム研修制度を設け、若い有機農業者10組を輩出しました。それでも農業者の高齢化、担い手不足、耕せなくなった田畑の増加は、この地として例外ではありません。そこで農協が動いた打撃が、農協が畑を借りて、自ら耕し法人経営していく方法。管理するのは民間の農業生産法人で、農業経営や生産管理などを学んだ2人の中堅農協職員です。

その一人、高橋さんは「自ら営農計画を立て、作物を作り、地域農業に直接貢献できることは何よりもやりがいがあります。耕作放棄地は条件も悪く、苦勞も多いようですが、真っ黒に日焼けした笑顔は充実感にあふれ、印象的でした。

春先、東都生協の職員と一緒に農作業して、生産者や農協職員とのきずなを深めたい」と、JAやさとより東都生協向けに畑4000㎡を貸すので自由に使う」との提案を受けました。産地を歩く、しっかりと自分を持った若い新世代の農業人たちが出会う、農業はいのちをはぐくむ新鮮で創造的な仕事で、「農ギャル」も登場する。若者の農への関心は決して低くないと感じています。

JAやさとと農場を舞台に、将来の生協の担い手が「食の未来づくり」を創造的に実践することを期待したい。そしてその実現のためにひと肌脱ぎたいと思いを準備をすすめています。

左から高橋大さん、風間常務理事、前島雄一郎さん

第8回 東都生協 平和のつどい

知ってつなげよう! 過去・現在・未来 ～ 平和な世界にするために ～

「東都生協 平和のつどい」は、次世代に歴史の事実を伝え、平和の大切さについて学ぶ機会としていただくために、毎年夏に開催しています。今年も、夏休みの一日を家族で平和について考える日にしましょう。

開催日: **8月19日(金)**

午後1時30分(12時45分開場)～

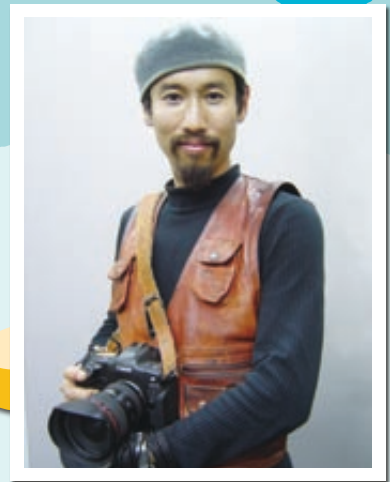
午後5時(5時30分閉場)

会場: **調布市グリーンホール 大ホール**

講演: **渡部陽一氏 (戦場カメラマン)**

「聞いてみよう! 世界の子どものこと」

世界を舞台に取材を続けている渡部陽一さんが、戦下で暮らす子どもたちの様子など、ご自身の体験を踏まえたお話をします。質問コーナーもあります!



<プロフィール> 1972年静岡県富士市生まれ。1993年からアフリカ・ザイール内戦、ユーゴスラビア内戦、チェチェン紛争、イラク紛争、パレスチナ紛争、コロンビア内戦、インドネシア・スマトラ沖地震、アフガニスタン米軍従軍など多数取材。

そのほか

- ・東日本大震災報告... 被災地の話、東都生協が行った募金など支援活動の報告
- ・被爆証言..... 東友会*による、広島・長崎の「あの日」のこと、その後の人生のお話
- ・ロビー展示..... 平和に関する展示&写真展および、東日本大震災支援コーナー

*東友会

正式名称「東京都原爆被害者団体協議会」。1945年広島・長崎で人類最初の核戦争を体験し、その後東京で生きてきた原爆被害者が、1958年11月16日に結成しました。1962年4月から被爆者の相談事業を東京都知事から委託され「ふたたびヒロシマ・ナガサキをつくらせない」を合言葉に運動を続けています。



チケット: **1枚500円** 注文番号: **378178**

7月1回～の注文書の特別企画欄でご注文ください。後日郵送でお届けします。 ※チケット販売枚数1,000枚。なくなり次第締め切ります。

注意事項

- *3歳以下のお子さんは無料ですが、座席が必要な場合は必ずチケットをご購入ください。
- *申し込み後のキャンセルでの払い戻しや、チケット郵送後の紛失への対応はできません。
- *計画停電などによりやむを得ず企画が中止となった場合のチケット代金は、返金せず、東日本大震災支援募金に充てさせていただきますことをあらかじめご了承ください。

★ 詳細は、東都生協ホームページをご覧ください。★ 問い合わせ先: 組織運営部 ※この企画の費用は「平和募金」から支出されています。

「MOGMOG」機関誌 東都生協だより

第359号 7月10日発行

発行人/庭野吉也 編集責任/東都生協だより編集委員会

ホームページアドレス <http://www.tohto-coop.or.jp>

東都生活協同組合

今月の表紙

身体や脳のエネルギー源となる炭水化物のほか、ビタミン、ミネラルが豊富なとうもろこし。ゆでる際は、甘みが逃げないように皮を1枚残してゆでましょう。ひげ根は取らずにそのまま! ひげ根の色素が全体をきれいな黄色に染めるので、ゆで上がりもおいしいそう!

〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階 TEL 03(5374)4750(代)

お問い合わせ 組織運営部

☎ 03(5374)4756

月曜～金曜: 午前9時～午後5時

E-mail kumikatsu@tohto.coop